

【取組内容②】 情報処理能力の活用を意図した社会科の授業実践

中学2年社会科の実践では、全体の課題に対して、生徒一人一人がめあてを設定し、それぞれが自らの課題を追究しながら授業を展開しています。まず、教科書や資料集、教師が用意したデータベースやネットと様々な媒体から情報収集を行います。そして、自分の課題解決と向き合う中で、自分なりの見方・考え方をもとに整理・分析を行い、まとめまで生徒が主体となって取り組んでいきます。これまで、共通のワークシートや板書によるまとめを整理していた授業とは大きく異なり、一人一人の学びによるまとめ(表現)を積み重ねることで、情報の収集、課題の解決の仕方、整理・分析の仕方などを他者参照しながら自分に合った学びを、模索しながら獲得していきます。

情報収集

富国強兵 学制を公布 6歳以上の男女 徴兵令 2万校以上の小学校 男子の就職率50% 女子は...

兵役を義務づけ 土族の特権 国民による軍隊

財源の確保 米で納める租税 米価の変動 収入不安定
土地の地価を定めた 土地の所有者に地券を発行 地租改正条例を公布 地租改正
税額を3%に 政府の財政安定 租税の負担 地租改正反対 一揆 租税を2.5%に引下げ

まとめ(表現)

欧米諸国に対抗するため、国力の充実や近代化のための改革「**富国強兵**」を目指した。

富国強兵 国を豊かにし、兵力を増強させること

近代化の基礎は国民意識にあると考え、学制を公布した。欧米の学校教育制度も取り入れ6歳以上の男女は全ての学校に通うように定めた。

強力な軍隊をつくるために徴兵令を出した。20歳になった男子に区別なく兵役を義務づけたことで、武士中心の軍隊から国民による軍隊へと改めた
→しかし、この改革は土族特権を奪うもので、反発を招いたり、国民に新たな負担がかかってしまい徴兵に反対する動きも見られた

政府の財政は米価の変動で不安定だった。
↓
土地の地価を定め、土地の所有者に地券を発行した。
↓
1873年に地租改正条例を公布し、土地所有者に現金

税額を3%にしてたが、租税の負担が以前とあまり変わらなかったため、地租改正反対する一揆が各地で起こった
→政府は租税を2.5%に下げた

情報収集

富国強兵 男子の就 国力の充実の近代化のための改革

制服・兵役・税制など広い範囲に及んだ

学制 徴兵令を發布した

近代化の基礎は教育による 西洋式で強力な全国統一の軍隊を作るため

国民意識の向上にあると考えた 20歳になった男子に、土族・平民の区別なく

6歳以上の男女は全て学校に通うように決 兵役を義務づける

まとめ(表現)

富国強兵とは	学制とは	徴兵令とは
西洋に列強に対抗できる国家の施設を目指して国力の充実や近代化のための改革 学制・兵制・税制など広い範囲に及んだ	欧米の学校教育制度を取り入れて、6歳以上の男女は全て学校に通うように定めた 男子の就職率は50%、女子はその半以下にとどまった	西洋式で強力な全国統一の軍隊をつくること 20歳になった男子に、土族・平民の区別なしに兵役を義務づけることで武士中心の軍隊から国民による軍隊へと改善
地租改正とは		
土地を売買を認めようとして、土地の価値を定め土地の所有者に地券を発行。地租改正条例を公布し地租を地価の3%を定めて土地の所有者に現金を定める		

これまで、共通のワークシートや板書によるまとめを整理していた授業とは大きく異なり、一人一人の学びによるまとめ(表現)を積み重ねることで、情報の収集、課題の解決の仕方、整理・分析の仕方などを他者参照しながら自分に合った学びを、模索しながら獲得していきます。